

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
保健医療部	いきいきプラザ	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	01	05	12	介護予防事業に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	5,259千円	4,393千円	5,550千円	0千円
総人件費	11,141千円	12,851千円	12,851千円	
総事業コスト	16,400千円	17,244千円	18,401千円	

事務事業名	01	介護予防事業			指標名	延参加人数(いきいき運動教室, 運動普及推進員活動, つくばウォーク)				指標種別	活動結果指標				指標の概要	いきいき運動教室の延べ参加者数, 運動普及推進員の延べ活動者数及び養成講座の延べ参加者数, つくばウォークの日の延べ参加者数				
戦略プラン	1	1	高齢者支援体制の整備		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略	-	-	-	-	実績	7,192人	8,898人	-												
個別計画	健康増進計画「健康つくば21」				H27年度				H28年度				その他の指標	-						
	改善目標	いきいき運動教室 参加者同士の交流を深める。 ・運動普及推進員活動 新規会員20名以上の増加 ・つくばウォークの日 参加者がより安全にイベントに参加できる体制を整える。参加者が参加しやすい, 地域に根ざしたイベント運営をする。若い世代・メタボ世代の参加者を増やす。				改善目標	いきいき運動教室 運動を継続するための動機付けを行なう。(短期運動教室・交流会) ・運動普及推進員の増員と活動の拡大。 ・つくばウォーク 安全体制の整備。2コース実施回数増加。継続者と若い世代の参加者増加。													
根拠法令等	健康増進法 介護保険法				事業計画	いきいき運動教室 新規参加者増員のため募集案内や対策の強化, 無料体験キャンペーンの開催(2回/年間) ・運動普及推進員活動 養成講座の開催 ・つくばウォークの日 安全体制のスタッフ周知, 個-への(参加者)自己管理の啓発。主体的なイベント運営(7回)と市主催のイベント運営(8回), イベント準備からの参加。成人保健事業や小学校及び企業への事業啓発。継続して参加したくなる仕掛けの工夫, イベント内容の充実。				事業計画	いきいき運動教室 短期運動教室の実施(2回/年) ・運動普及推進員養成講座実施(毎年に変更) ・つくばウォークの日 安全体制のスタッフへの周知。主体的なイベント運営(8回)。継続して参加してくなるようなイベント内容の充実及び健康情報の提供。多世代が参加する教室などへの事業啓発。									
事業分類	A 任意的事業				活動実績	いきいき運動教室 5コース 41回 参加者実数195名 述べ参加者数5,607名 ・運動普及推進活動 249回 延1,024人 ・運動普及推進員養成養成講座 修了者27人 延170人 ・つくばウォークの日 実施回数: 13回 延参加者数: 2,097人				上半期活動実績	-									
執行体制	職員のみ				成果	いきいき運動教室 対象年齢を拡大し, 広報・地区回覧・HPで広報活動を実施し, 新規参加者が増加した。 ・運動普及推進員 活動の拡大ができた ・運動普及推進員の主体的なイベント運営。企業や団体との共催による内容の充実化。ポイント交換制度の導入。				上半期成果	-									
事業の目的	中高年齢者の健康増進, 体力改善や老化防止, 生活習慣病予防のため運動を通じ, 疾病予防や運動の習慣づけを目指し, 健康寿命を延伸する。				課題	いきいき運動教室 新規参加者の増員を図り, 健康づくりの取り組みを拡大して生活習慣病の予防・改善を推進する。 ・運動普及推進員 活動の拡大に伴うスタッフの養成 ・個々に合わせたベース, 距離数の設定。雨天によるイベントの中止。若い世代の参加者数が少ない。				課題	-									
事業の概要	いきいき運動教室 介護保険の認定を受けていない方に運動機能を高める。 ・運動普及推進員活動 運動普及推進員として地域に密着した活動を行う。 ・つくばウォークの日 手軽にできるウォーキングを生活の中に取り入れる動議づけをする。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-								
	ISO 14001 関連性	-	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している	評価	有効性	-										
					効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している		効率性	-											
					総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施		総合評価	-											
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)		5,259千円	4,393千円	5,550千円	0千円									
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳														
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	人件費(B)		11,141千円	12,851千円	12,851千円										
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	正職員		1.37人	1.46人	1.46人										
その他特財		1,961千円	2,391千円	1,312千円	0千円	時間外勤務		272.00時間	751.00時間	751.00時間										
一般財源		3,298千円	2,002千円	4,238千円	0千円	臨時職員等		有	有	有										
事業コスト(A+B)		16,400千円	17,244千円	18,401千円		H29年度当初積算根拠														
H29年度当初積算根拠						H29年度の方向性		-	理由	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	6,242千円	6,365千円	7,835千円	0千円
総人件費	7,266千円	7,167千円	7,167千円	
総事業コスト	13,508千円	13,532千円	15,002千円	

部等名	課等名	係等名
保健医療部	いきいきプラザ	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	04	01	05	14	健康増進施設いきいきプラザ管理に要する経費

事務事業名	01	いきいきプラザ運営管理事業	指標名	アリ-ナ貸出数				指標種別	活動結果指標			指標の概要							
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	アリ-ナ貸出による延べ利用者数							
実績	-	-	-	-	7592人	9,413人	-												
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-					
改善目標	-	-	-	-					利用者の増加に伴い駐車スペースの確保が必要になるが、公共交通機関の利用促進について案内する。										
個別計画	-	-	-	-					誰もが安全で安心して利用できるよう施設整備に努める。また、利用者が増加することで光熱水費が増加するので、節電節水できようグリーンカーテン等の策を講じる。										
事業計画	-	-	-	-	当施設の利用促進に努め、健康づくりの様々な活動が行われるよう配慮した施設整備を推進していく。														
活動実績	-	-	-	-	アリーナ貸出件数 370件 延べ利用人数9,413人 ・施設修繕 雨樋、水栓修繕及び第2駐車場からの通路拡張修繕。 ・施設管理各種委託 清掃、警備、電気保安、消防設備保守、植栽維持管理、施設管理業務 ・印刷機賃借によるコピー削減・備品購入 スチールラック、ロッカー				上半期活動実績										
成果	-	-	-	-	運動を通じて市民の基礎体力の向上を目指し、その健康を維持し、健康で豊かな市民生活の形成を図ることができた。				上半期成果										
課題	-	-	-	-	施設利用者の増加に伴い駐車スペースの確保				課題										
事業の進捗状況	-	-	-	-	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況				-	目標の進捗状況						
有効性	-	-	-	-	高	成果が向上(高水準を維持)している				有効性									
効率性	-	-	-	-	高	費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性									
総合評価	-	-	-	-	S	成果・費用対効果を維持して継続実施				総合評価									
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-															
事業実施コスト			H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初													
事業費(A)			6,242千円	6,365千円	7,835千円	0千円													
国庫支出金			0千円	0千円	0千円	0千円													
県支出金			0千円	0千円	0千円	0千円													
地方債			0千円	0千円	0千円	0千円													
その他特財			643千円	837千円	791千円	0千円													
一般財源			5,599千円	5,528千円	7,044千円	0千円													
人件費(B)			7,266千円	7,167千円	7,167千円														
正職員	従事割合	0.90人	0.90人	0.90人															
時間外勤務	159.00時間	180.00時間	180.00時間																
臨時職員等	有	有	有																
事業コスト(A+B)			13,508千円	13,532千円	15,002千円														
H29年度当初積算根拠																			
H29年度の方向性	-	理由																	
すべての市民が生涯を通じて明るく豊かに生活できるよう、健康増進を図るため。																			
アリーナ貸出業務(施設使用料徴収事務を含む。),施設管理業務(維持管理を含む。),大学や専門学校からの体験実習生の受入等																			
ISO 14001 環境関連性																			
H29年度の方向性	-	理由																	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
保健医療部	いきいきプラザ	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	01	02	11	介護予防(いきいきプラザ)事業に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	18,187千円	23,221千円	20,466千円	0千円
総人件費	3,114千円	3,046千円	21,890千円	
総事業コスト	21,301千円	26,267千円	42,356千円	

事務事業名	01	出前体操教室等事業			指標名	参加延べ人数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	各教室の延べ参加者数				
戦略プラン	1	1	高齢者支援体制の整備		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
	-	-	-	-	実績	31,168人	39,717人	-												
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-						
	-	-	-	-	改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 出前健康教室 新規団体5以上 出前体操教室 新規団体10以上 シニア健康教室 新規参加者を増やす。 元気はつらつ運動教室新規参加者の増員のため募集活動の強化駐車場の確保とコースの見直し。 				<ul style="list-style-type: none"> 出前健康・体操教室 新規参加者を増やす 元気はつらつ運動教室 新規コースの参加者の増員を図る シニア 新規者の拡大 										
個別計画	健康増進計画「健康つくば21」				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 出前健康・体操教室 体験会の開催 区長会,民生委員会での広報 シニア健康教室 あるテ-マにしぼった内容の教室を開催する募集活動の強化 元気はつらつ運動教室 無料体験キャンペーンを開催し市民の関心を高める。運動教室の活性化を図る。交流会を開催する(1回/年間) 				<ul style="list-style-type: none"> 出前健康・体操教室 募集型の出前教室を開催する。 元気はつらつ運動教室 無料体験の実施,運動教室に継続して参加する動機づけを図るための交流会の実施。 新たなテーマを設定し,系統だてた教室運営を行う。新規者の拡大を図る。 										
根拠法令等	健康増進法,介護保険法					活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 出前健康・体操教室 体験会の開催 区長会・民生委員会での広報を実施した。延べ参加者35,957人新たに多世代交流出前教室を実施した。 シニア健康教室 3会場×8回 計24回実施 参加者実人数 118人(うち86人新規者)延べ参加者数790人 元気はつらつ運動教室 3コース 参加実人数120人延べ参加者数2,970人 				-									
事業分類	A 任意的事業				成果		<ul style="list-style-type: none"> 出前教室 新規利用団体が増えた。 シニア 新規者の拡大につながった。健康講話が行動変容に,体力測定が体力の維持向上につながっていた。 元気はつらつ 12月より1コース新設し,参加者の増員を図った。 				-									
執行体制	一部委託					課題	<ul style="list-style-type: none"> シニア健康教室 新規者の拡大 元気はつらつ運動教室 参加者の体力差に合わせた運動強度のコースの設定 				-									
事業の目的	介護予防の観点から,健康に関する知識を普及啓発することで健康意識を高め,運動を生活の中に取り入れる動機づけを行う。運動の習慣を身に着けることで,転倒予防・寝たきり予防・生活機能の維持向上を図り,外に出かけることで閉じこもりのを予防にもなる。疾病予防・健康増進・介護予防の観点から地域に出向き,正しい知識の普及と情報の提供により市民の健康意識を高めるため。				事業の進捗状況		達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況		-							
事業の概要	事業の啓発活動・ライフプランすこやかに・保健センター等へのチラシ設置・回覧。保健師,栄養士による健康講話と血圧や体脂肪などの測定。個別健康相談。インストラクタ-またはシルバー-リハビリ体操指導士による体操。元気はつらつ運動教室は3コ-ス年41回開講し,健康づくりのための60分の運動を行う。				事業の進捗状況		達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況		-							
ISO 14001 関連性	-	-			評価	有効性	高:成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-									
	-	-				効率性	高:費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-									
	-	-				総合評価	S:成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-									
					事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	H29年度の方向性		-	理由	-					
					事業費(A)		13,774千円	18,105千円	20,466千円	0千円	H29年度当初積算根拠									
					国庫支出金		3,444千円	4,526千円	4,800千円	0千円										
					県支出金		1,722千円	2,263千円	2,402千円	0千円										
					地方債		0千円	0千円	0千円	0千円										
					その他特財		5,578千円	7,333千円	9,037千円	0千円										
					一般財源		3,030千円	3,983千円	4,227千円	0千円										
					人件費(B)		0千円	0千円	18,844千円											
					正職員		1.32人	2.23人	2.33人											
					時間外勤務		173.00時間	575.00時間	575.00時間											
					臨時職員等		有	有	有											
					事業コスト(A+B)		13,774千円	18,105千円	39,310千円											

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
保健医療部	いきいきプラザ	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	01	02	11	介護予防(いきいきプラザ)事業に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	18,187千円	23,221千円	20,466千円	0千円
総人件費	3,114千円	3,046千円	21,890千円	
総事業コスト	21,301千円	26,267千円	42,356千円	

事務事業名	02 介護予防訪問事業				指標名	介護予防訪問指導延件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	対象者の高齢者に対して、介護予防訪問担当者(医療職)が年間で訪問等指導をした件数。			
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
	-	-	-	-	実績	900人	900人	900人	950人	950人	1000人	1000人							
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	閉じこもり予防・支援事前事後アセスメント票					
	-	-	-	-	改善目標	個別アプローチの必要な対象者にサービスが提供できるよう対象者把握方法を検討及び事業を展開する 他部署で実施している類似した事業の調整、連携を図る				改善目標	個別アプローチの必要な対象者にサービスが提供できるよう対象者把握方法を検討及び事業を展開する 活動拠点を増やし、保健センターからも訪問に行けるようにする								
個別計画	-				事業計画	新規対象者把握方法の基本チェックリストがH27年度は実施しない方向のため、地域包括支援課と定期的な打ち合わせをしながら対象者把握方法について、検討していく 関係部署と情報を共有しながら、事業の調整及び連携を図り事業を展開する				事業計画	新規対象者把握方法について、地域包括支援課・高齢福祉課と定期的な打ち合わせをしながら対象者把握方法について、検討していく 健康増進課内で情報を共有しながら、事業の調整及び連携を図り事業を展開する				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
根拠法令等	健康増進法 介護保険法				活動実績	新規対象者把握方法の基本チェックリストがH28年度は実施しなかったが、前年度のデータを基に訪問を実施した。地域包括支援課と定期的な打ち合わせをしながら対象者把握方法について、検討した。 健康増進課内と高齢福祉課とも情報を共有しながら、事業の調整及び連携を図り事業を展開した				上半期活動実績	-				事業費(A)	4,413千円	5,116千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事業				成果	継続者と新規者の訪問を実施できた。				上半期成果	-				国庫支出金	139千円	139千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ				課題	次年度の対象者の掘りおこし・選定について、関係部署と調整する。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	つくば市の高齢者が、介護予防の観点から要介護状態にならないよう、また、心身の機能低下を防止し、現在の生活が維持できるよう支援するため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	内訳	人件費(B)	3,114千円	3,046千円	3,046千円	H27年度までは「訪問事業に要する経費」で支出	
事業の概要	主に地域包括支援課の基本チェックリストを基に、継続的な健康支援が必要と思われる方に対して、保健師(常勤・非常勤)・看護師(非常勤)が定期的に家庭を訪問し、健康相談やサービス等の情報提供を行う。				評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している	評価	有効性	-		正職員	従事割合	0.41人	0.41人	0.41人			
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-	評価	効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している	評価	効率性	-		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間				
						総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施		総合評価	-		臨時職員等	有	有	有				
												事業コスト(A+B)	7,527千円	8,162千円	3,046千円				
												H29年度当初積算根拠	-						
												H29年度の方向性	-	理由	-				